

# 2020 年度 脳神経内科 業績

## 1. 学会発表

### 国際学会

1. Teruyuki Hirano, Hirofumi Nakayama, Hidehiro Takekawa, Haruhiko Hoshino, Kazuo Minematsu, Takenori Yamaguchi, Susumu Miyamoto: Approval of Stroke and Cardiovascular Disease Control Act in Japan . ESO-WSO 2020 2020 年 11 月 6 日 Wien WEB WEB
2. Haruhiko Hoshino, Japan Makoto Takagi, Japan Tomohide Adachi, Japan Koichi Oki, Japan Satoshi Yamada, Japan Hidefumi Narita, and Saiseikai Stroke Investigators : CLINICAL FEATURES OF 4,637 JAPANESE INTRACEREBRAL HEMORRHAGES: RECENT TRENDS . ESO-WSO 2020 2020 年 11 月 6 日 Wien WEB WEB
3. Tomohide Adachi, Haruhiko Hoshino, Makoto Takagi, and Saiseikai Stroke Investigators : HEMATOMA VOLUME AND MORTALITY OF INTRACEREBRAL HEMORRHAGE ASSOCIATED WITH DIRECT ORAL ANTICOAGULANTS ARE THE SAME AS THOSE ASSOCIATED WITH WARFARIN. ESO-WSO 2020 2020 年 11 月 6 日 Wien WEB WEB

### 国内学会

1. 堀江和史、大木宏一、金澤英明、傳田竜之介、成田秀文、山田哲、足立智英、星野晴彦.  
Platypnea orthodeoxia syndrome が病型診断の契機となった高齢発症奇異性脳塞栓症の 1 例.  
第 117 回日本内科学会総会・内科ことはじめ 2020 年 8 月 8 日 東京
2. 大木宏一  
Controversies on structural heart disease management. PFO should be closed in most patients with cryptogenic stroke? Con: No, oral anticoagulation is enough for older patients.  
第 84 回日本循環器学会学術集会 Debate13-3 2020 年 7 月 31 日. 京都(WEB 開催)

3. 星野晴彦  
抗血栓療法の新展開:慢性期抗血小板薬併用療法:CSPC.com 研究のインパクト.  
第 45 回 日本脳卒中学会学術集会 2020 年 8 月 25 日 神奈川県横浜市 パシフィコ横浜
4. 大木 宏一, 成田 秀文, 山田 哲, 足立 智英, 星野 晴彦, 高木 誠, 済生会脳卒中研究グループ:  
大規模データベースを用いた脳卒中発症の日内変動・週内変動に関する検討.  
第 45 回 日本脳卒中学会学術集会 2020 年 8 月 25 日 神奈川県横浜市 パシフィコ横浜
5. 足立 智英, 星野 晴彦, 大木 宏一, 山田 哲, 成田 秀文, 高木 誠, 浅田 英穂, 寺尾 聡, 済生会脳卒中研究グループ:  
抗凝固療法中の脳出血:DOAC とワルファリンの血腫量・死亡率は同等である.  
第 45 回 日本脳卒中学会学術集会 2020 年 8 月 25 日 神奈川県横浜市 パシフィコ横浜
6. 大木宏一:  
卵円孔開存を有する潜因性脳梗塞患者への対応:その診断と内科的治療.  
第 7 回 日本心血管脳卒中学会学術集会 2020 年 8 月 25 日 横浜(WEB 開催)
7. 山田 碧, 四家あずさ, 川端奈緒, 浅水香理, 深谷純子, 荒川千晶, 足立智英, 星野晴彦:  
ダンスが軽度認知障害患者の認知機能とメンタルヘルスに及ぼす影響の検討.  
第 61 回 日本神経学会学術大会 2020 年 8 月 31 日 岡山県岡山市 岡山コンベンションセンター WEB
8. 下濱 祥, 大木宏一, 成田秀文, 馬島恭子, 山田 哲, 足立智英, 小林陽介 2, 廣瀬茂道, 星野晴彦:  
ムチン産生を伴う膀胱癌(微小乳頭型尿路上皮癌)によるトルソー症候群と考えられた 70 歳男性の一例.  
第 234 回 日本神経学会関東地方会 2020 年 9 月 5 日 WEB
9. 岡田健佑, 大木宏一, 鈴木重明.  
免疫チェックポイント阻害薬投与により発症した severe polyradiculoneuropathy の臨床像.  
第 38 回日本神経治療学会学術集会 2020 年 10 月 28 日 東京
10. 山田哲, 岩本創哉, 成田秀文, 北村洋平, 大木宏一, 星野晴彦:  
症候性頭蓋内内頸動脈狭窄症に対する Wingspan stent の治療成績.

第 36 回 日本脳神経血管内治療学会学術総会 2020 年 11 月 19 日 京都府京都市  
京都国際会館

11. 山田哲, 岩本創哉, 成田秀文, 北村洋平, 大木宏一, 星野晴彦:  
ステント併用コイル塞栓術後に再増大した解離性椎骨動脈瘤に対する LVIS stent の有用性.  
第 36 回 日本脳神経血管内治療学会学術総会 2020 年 11 月 19 日 京都府京都市  
京都国際会館
12. 山田 碧, 仲里佐和子, 宮原 裕美, 河合 俊英, 足立 智英, 星野 晴彦 :  
高齢人間ドック受診者における認知機能低下を早期発見する試み.  
第 61 回 日本人間ドック学会学術大会 2020 年 11 月 26 日 神奈川県横浜市 パシフィコ横浜
13. 安部恭嗣, 岩本創哉, 成田秀文, 馬島恭子, 山田 哲, 大木宏一, 星野晴彦:  
脳梗塞に対して経皮的血栓回収術を施行し、病理学的に急性骨髄性白血病による腫瘍塞栓と診断し得た 71 歳男性例.  
第 235 回 日本神経学会関東地方会 2020 年 12 月 5 日 WEB
14. 内山 真一郎, 豊田 一則, 山口 武典, 大前 勝弘, 斎多 遼太郎, 木村 和美, 星野 晴彦,  
坂井 信幸, 岡田 靖, 松本 昌泰:  
Late breaking clinical trial:  
頭蓋内動脈狭窄患者におけるシロスタゾールを用いた抗血小板薬併用療法: CSPS.com  
試験のサブグループ解析.  
第 46 回 STROKE2021 日本脳卒中学会学術集会 2021 年 3 月 11 日 福岡県福岡市  
福岡国際会議場
15. 大木宏一.  
「脳梗塞後 DAPT はいつまで継続すべきか」: DAPT 継続は短期.  
第 46 回 日本脳卒中学会学術集会ディベート 4 2021 年 3 月 13 日 福岡(WEB 開催)
16. 成田 秀文, 大木 宏一, 高橋 祥子, 岩本 創哉, 下濱 祥, 馬島 恭子, 山田 哲, 足立  
智英, 星野 晴彦, 高木 誠:  
大規模データベースを用いた脳卒中の月別変動に関する検討.  
第 46 回 STROKE2021 日本脳卒中学会学術集会 2021 年 3 月 11 日 福岡県福岡市  
福岡国際会議場
17. 足立 智英, 星野 晴彦, 大木 宏一, 山田 哲, 馬島 恭子, 成田 秀文, 高木 誠:  
高齢者における抗凝固療法下の脳出血: 血腫量と予後の検討.  
第 46 回 STROKE2021 日本脳卒中学会学術集会 2021 年 3 月 11 日 福岡県福岡

## 2. 論文発表・著書

### 学会誌(Peer Review)

1. Kazunori Toyoda, Yuko Y Palesch, Masatoshi Koga, Lydia Foster, Haruko Yamamoto, Sohei Yoshimura, Masafumi Ihara, Mayumi Fukuda-Doi, Shuhei Okazaki, Kanta Tanaka, Kaori Miwa, Yasuhiro Hasegawa, Yoshiaki Shiokawa, Toru Iwama, Kenji Kamiyama, Haruhiko Hoshino, Thorsten Steiner, Byung-Woo Yoon, Yongjun Wang, Chung Y Hsu, Adnan I Qureshi, ATACH-2 Trial Investigators. Regional differences in the response to acute blood pressure lowering after cerebral hemorrhage. *Neurology* 96 (5), 2021,
2. Masahito Takagi, Kanta Tanaka, Kaori Miwa, Makoto Sasaki, Masatoshi Koga, Teruyuki Hirano, Kenji Kamiyama, Yoshiki Yagita, Yoshinari Nagakane, Haruhiko Hoshino, Tadashi Terasaki, Yusuke Yakushiji, Kohsuke Kudo, Masafumi Ihara, Sohei Yoshimura, Yoshitaka Yamaguchi, Masayuki Shiozawa and Kazunori Toyoda for BAT2 Investigators. The bleeding with antithrombotic therapy study 2: Rationale, design, and baseline characteristics of the participants. *Eur Stroke J* 5(4): 423-431, 2020.
3. Ashkan Shoamanesh, MD; Andrea Morotti, MD; Javier M. Romero, MD; Jmary Oliveira-Filho, MD, PhD; Frieder Schlunk, MD; Michael J. Jessel, MEng; Alison M. Ayres, BA; Anastasia Vashkevich, BA; Kristin Schwab, BA; Mohammad R. Afzal, MD; Christy Cassarly, PhD; Renee H. Martin, PhD; Adnan I. Qureshi, MD; Steven M. Greenberg, MD, PhD; Jonathan Rosand, MD, MSc; Joshua N. Goldstein, MD, PhD; for the Antihypertensive Treatment of Acute Cerebral Hemorrhage 2 (ATACH-2) and the Neurological Emergencies Treatment Trials (NETT) Network Investigators. Cerebral Microbleeds and the Effect of Intensive Blood Pressure Reduction on Hematoma Expansion and Functional Outcomes. A Secondary Analysis of the ATACH-2 Randomized Clinical Trial. *JAMA Neurol* 75(7): 850-859, 2018
4. Daté Y, Sugiyama D, Tabuchi H, Saito N, Konishi M, Eguchi Y, Momota Y, Yoshizaki T, Mashima K, Mimura M, Nakahara J, Ito D. The utility of

simple questions to evaluate cognitive impairment. PLoS One. 2020 May 14;15(5):e0233225.

5. Nicolas Leventoux, Satoru Morimoto, Kent Imaizumi, Yuta Sato, Shinichi Takahashi, Kyoko Mashima, Mitsuru Ishikawa, Iki Sonn, Takahiro Kondo, Hirotaka Watanabe and Hideyuki Okano. Human Astrocytes Model Derived from Induced Pluripotent Stem Cells. Cells. 2020 Dec 13;9(12):2680.
6. Diener HC, Akagi T, Durongpisitkul K, Thomson VS, Prabhakar AT, Sharpe R, Albers B, Lewalter T, Oki K and Sharma VK. Closure of the patent foramen ovale in patients with embolic stroke of undetermined source: A clinical expert opinion and consensus statement for the Asian-Pacific region. Int J Stroke 15: 937-944, 2020.
7. Okada K, Seki M, Yaguchi H, Sakuta K, Mukai T, Yamada S, Oki K, Nakahara J and Suzuki S. Polyradiculoneuropathy induced by immune checkpoint inhibitors: a case series and review of the literature. J Neurol. 2021;268(2):680-8.
8. 平田佳子, 清水智子, 小栗知世, 大木宏一, 木村佳史. ペムブロリズマブ使用中に発症した中毒性皮膚壊死症の1例. 臨床皮膚科. 2020; 74: 311 – 316.

## 雑誌

1. 「その他の脳血管障害の診療の動向. 脳動脈解離」  
著者:高木 誠 Clinical Neurosci38(5):635-637, 2020
2. 「脳卒中急性期の診察」  
著者:星野晴彦 ドクターサロン 64(4): 300-303, 2020
3. 「危険因子の管理と再発予防」  
著者:星野晴彦 Clinical Neuroscience38(5): 595-598, 2020
4. 「脳卒中の地域医療連携(1)東京での取り組み」  
著者:星野晴彦 ドクターサロン 64(9): 711-714, 2020
5. 「脳卒中急性期の検査」.  
著者:大木宏一 ドクターサロン 64(4): 304-308, 2020

6. 「高血圧性脳出血の病態と診断」  
著者:大木宏一 ドクターサロン 64(6): 463-466, 2020
7. 「高血圧性脳出血の非手術的治療」  
著者:大木宏一 ドクターサロン 64(6): 467-470, 2020
8. 「アテローム血栓性脳梗塞」  
著者:大木宏一 ブレインナーシング. 2020 年夏季増刊: 74-82
9. 「卵円孔開存のある潜因性脳梗塞 再発予防のための抗血栓療法」  
著者:大木宏一 Cardio-Coagulation. 2020; 7(1): 23-27
10. 「脳卒中急性期診療」  
著者:大木宏一 Clinical Neuroscience. 2020; 38: 560-563.
11. 「脳梗塞に対する細胞治療の現状と展望」  
著者:大木宏一 BIO Clinica. 2020; 35:41-45.
12. 「卵円孔開存を有する潜因性脳梗塞に対する至適抗血栓療法～卵円孔開存閉鎖術後の管理も含めて～」  
著者:大木宏一 医学のあゆみ. 2021; 276: 286-290

## 書籍

1. 「抗てんかん薬ほか」  
治療薬マニュアル 2020 (医学書院、2020)  
著者:高木誠
2. 今日の治療指針 私はこう治療している  
第 62 巻. 福井次矢、高木 誠、小室一成総編集(医学書院、2020)
3. 「脳血管障害 脳梗塞」  
脳神経内科 ゴールデンハンドブック 改訂第3版(南江堂、2020)  
著者:星野晴彦 (鈴木則宏 編) pp. 108-115., 2020
4. 「意識障害患者の神経診察の方法」  
神経診察クローズアップ 正しい病巣診断のコツ 第3版(メジカルビュー、2020)  
著者:星野晴彦 (鈴木則宏 編) pp. 210-222., 2020

5. 「一過性脳虚血発作(TIA)」  
脳神経内科ゴールデンハンドブック（改訂第3版）南江堂, 東京, 2020  
著者:大木宏一（鈴木則宏 編） pp 115-116
6. 「脳出血」  
脳神経内科ゴールデンハンドブック（改訂第3版）南江堂, 東京, 2020  
著者:大木宏一（鈴木則宏 編） pp 117-118
7. 「脳静脈血栓症」  
脳神経内科ゴールデンハンドブック（改訂第3版）南江堂, 東京, 2020  
著者:大木宏一（鈴木則宏 編） p 119
8. 「くも膜下出血」  
脳神経内科ゴールデンハンドブック（改訂第3版）南江堂, 東京, 2020  
著者:大木宏一（鈴木則宏 編） pp 120-121
9. 「慢性硬膜下血種」  
脳神経内科ゴールデンハンドブック（改訂第3版）南江堂, 東京, 2020  
著者:大木宏一（鈴木則宏 編） p 122
10. 「梅毒」脳神経内科ゴールデンハンドブック（改訂第3版）南江堂, 東京, 2020  
著者:大木宏一（鈴木則宏 編） pp. 160-162